

子ども大学さやま第三日の講義が行われました。

子ども大学とは、大学のキャンパスなどで小学校では学ばないことを、大学の先生などの専門家が分かりやすく教えるものです。

- ・ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」
  - ・地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」
  - ・自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
- と、3分野の内容の講義を基本的に行います。

第三日の講義は飯能信用金庫、四本松みなみ先生による「『経済』ってなあに？～お金の大切さを考えよう～」【生き方学】でした。

最初にお金の歴史やその役割について勉強した後に、3択クイズを実施しました。

信用金庫とは何かについて説明があった後、貯金・貸付・決済等お金の働きについて学びました。

また、円高・円安とはなにか、本物の紙幣から隠れた文字などを探しながら、紙幣の偽造防止技術についても学びました。

この講義を通じて、お金の価値や機能、そして経済について深く考える機会を得た様子でした。



講義の後、修了式が行われました。子ども大学さやま学長 高橋暢雄先生（武蔵野学院大学学長）から1人1人修了証書を受け取り、学生代表の2名が感想を発表しました。

修了式後の写真撮影では、特別ゲストとして狭山市のイメージキャラクター“七夕の妖精おりびい”が来てくれ、皆さんと一緒に記念撮影を行いました。



今年度の子ども大学さやまは以上となります。

来年度も開校予定ですので、ご関心をお持ちになりましたら、ご参加をご検討ください。